

1. 日時 平成 25 年 12 月 3 日(火) 13:30-15:00
2. 場所 ハロー貸し会議室市ヶ谷 8 階
3. 出席・欠席者 (敬称略) :

○出席

森本 (編修長、東海大学)、寺田 (副編修長、徳島大学)、綾野 (D1 主査、東京高専)、岩崎 (D2 主査、名古屋工業大学)、野口 (D3 主査、静岡大学)、樋口 (D3 副主査、長崎大学)、榎本 (D3 幹事、日立)、森下 (D3 幹事、工学院大学)、山本 (D3 幹事、鹿児島大学)、山本 (D3 幹事、明電舎)、叶田 (D4 主査、日立製作所)、浜松 (D4、D5 副主査、日本大学)、真田 (D4 幹事、大阪府立大学)、宮武 (D4 幹事、上智大学)、古関 (D5 幹事、東京大学)、山中 (D5 幹事、東芝)、結城 (D5 幹事、東芝)、柴田 (ゲストエディタ、成蹊大学)、中沢 (D1 副主査、東芝、記録)

×欠席

星 (D1 幹事、東京理科大学)、三野 (D1 幹事、富士電機)、森實 (D1 幹事、大阪工業大学)、和田 (D1 幹事、首都大学東京)、高橋 (D2 副主査、香川大学)、内村 (D2 幹事、芝浦工業大学)、駒田 (D2 幹事、三重大学)、藤本 (D2 幹事、東京大学)、満倉 (D2 幹事、慶應義塾大学)、廣塚 (D3 幹事、中部大学)、山本 (D3 幹事、職業能力開発総合大学校)、近藤 (D5 主査、千葉大学)、市川 (D5 幹事、工学院大学)、姉崎 (ゲストエディタ、沖縄工業高専)、佐藤 (ゲストエディタ、千葉大学)、

4. 提出資料

H25-4-0	平成 25 年度第 4 回 D 部門主査会議事 (寺田)
H25-4-1	第 3 回産業応用部門論文委員会主査会議 議事録 (案) (中沢)
H25-4-2	電子査読システムの運用状況 (日本語論文誌) (寺田)
H25-4-3-1, 2	特集号の論文処理状況 (寺田)
H25-4-3-3-1,2	特集号の論文募集、特集論文企画書 (寺田)
H25-4-3-4	電気学会論文誌 D 掲載数
H25-4-5	平成 25 年第三回産業応用部門役員会議事録
H25-4-6-1	査読者へのお礼の件
H25-4-6-2	主査会議事録廃止について

5. 議事

5.1 前回議事録の確認

前回議事録 (資料 H25-4-1) について、議事番号誤記修正を条件に、承認された。

5.2 電子査読システム運用状況

資料 H25-4-2 に基づき、電子査読システム運用状況の報告があった。旧システムの残り最後の 1 件が通過した旨報告があった。

5.3 特集号状況確認

資料 H25-4-3-1 に基づき、特集号「半導体電力変換研究会」に関する論文査読状況説明があった。

9件掲載処理になっており、特集号構成できる見込み。査読中の1件も掲載になる見込みである旨報告があった。

資料 H25-4-3-2（差替え版）に基づき、特集号「産業計測自動制御、メカトロニクス制御」に関する論文査読状況説明があった。採録決定10件、査読中8件の状況であり、特集号の発刊は成立する見込みである旨報告があった。

5.4 特集号の論文企画・募集について

資料 H25-4-3-3-1「産業計測制御・メカトロニクス制御」特集論文企画書および資料 H25-4-3-3-2「産業計測制御・メカトロニクス制御」特集号論文募集原稿について審議依頼があった。次回以降は Workshop としてやり方が変わるかもしれない旨コメントがあった。審議の結果、本特集号の企画は承認された。

5.5 論文誌の掲載数について

資料 H25-4-3-4 に基づき、電気学会論文誌 D の掲載数推移の調査結果が報告された。前回議事 5.3 の中での宿題事項「技術委員会毎の特集号掲載件数の傾向を確認したい、特集号成立の最低件数についても確認したいとの議論があり、技術委員会毎の特集号掲載件数一覧を、寺田副編修長が調べて、次回主査会で報告することとなった。」に対応したもの。特集号の特集論文数は、4件～24件。

関連事項として、D1～D3の要素技術グループは英文論文誌での特集、D4,D5は企業からの投稿しやすさも考慮に入れて和文英文どちらで特集企画してもよいという方向で議論が進んでいる旨紹介があった。

5.6 D部門役員会報告

資料 H25-4-5 に基づき、平成25年度第三回産業応用部門役員会の議事内容が報告された。平成27年度の部門大会は大分地区で決定、平成28年度は会津大学が候補である旨説明があった。

5.7 その他

(1) 査読者へのお礼の件

資料 25-4-6-1 に基づき査読者へのお礼に関する対応案の審議を行った。8月に開催された論文委員意見交換会にて意見が出された、査読委員に対する褒賞に関する議論の継続。審議の結果、電子ジャーナルにおける査読者一覧アクセス数が少ない(26件)であることを鑑みて、ニュースレターに掲載して紹介する方針で意見を上げていくこととなった。また掲載内容は、名前のみではなく、所属まで含める方針で進めることとなった。電子ジャーナル版についても所属を追加する方針で進めることになった。

(2) 主査会議事録公開廃止について

資料 25-4-6-2 に基づき主査会議事録公開廃止に関する議論を行った。審議の結果、主査会議事録のホームページへのアップ公開は、2014年度から廃止することとなった。

5.8 次回開催日

2014年3月31日(月) 14:30-16:30